



▲斎藤実盛の兜

斎藤別当実盛の兜が源平の物語を伝える

ただ 多太神社

◆初詣情報
【祈祷、お札・お守りなど授与】
12月31日(月)夜～1月1日(火)祝17時ごろ
2日(水)・3日(木) 9時～16時
※宝物館は閉館



▲松尾芭蕉の句碑

多太神社の始まりは、503年と伝えられています。鎌倉期には「能美の八幡」と称され、加賀の國の有力八社に数えられていました。また、前田家の祈禱所でもありました。

宝物館には、国の重要文化財に指定された、斎藤実盛着用と伝わる兜が保存されています。平安末期の源平合戦のとき、73歳だった平家の武将・実盛は、木曾義仲軍に敗れ討ち死にします。義仲がその首を洗うと、墨で塗った髪がみるみる白くなり、幼いころ自分の命を助けてくれた実盛だったと分かれます。涙ながらの対面をした義仲は、供養と勝利祈願のお札に兜を奉納しました。

後に松尾芭蕉が「むざんやな 甲の下の きりぎりす」と詠み、境内には句碑が建っています。

特集

しあわせ祈願
こまつ七社

新年あけましておめでとうございます。
2019年の幕開け、今年チャレンジしたいことはありますか。
小松には前田家ゆかりの神社をはじめ、
由緒ある神社がたくさんあります。
皆さんの健康と幸せ、目標達成を願って、
パワーが宿り心のよりどころとなる
7社を紹介します。

特集に関する問い合わせ
広報秘書課 ☎24・8016

魔を除き福を招く
本折日吉神社



◆初詣情報
【祈祷、お札・お守りなど授与】
1月1日(火)祝～3日(木) 8時～16時
※1日(火)祝0時～と10時～の2回、振る舞いうどん、振る舞い酒があります
(無くなり次第終了)

前田家の祈禱所であった本折日吉神社は、1184年に現在の地に鎮座したと言われています。「山王さん」「日吉さん」と親しまれ、開運魔除けや鬼門除けの社として信仰を集めています。毎年5月には、御輿渡御や曳山子供歌舞伎が見どころのお旅まつりが開催されています。

境内には、撫でると子宝に恵まれると言われる「子授け石」のほか、いくつかの猿の像があります。

昔から神のお遣いである猿を「真猿(まさる)」と呼んで尊み、「魔去る」「勝る」として魔を払い福を呼ぶものとされてきました。猿は夫婦仲も良く親子の愛情が深く、たくさんの子供に恵まれることから、家内安全や夫婦円満、子授け・安産の祈願に多くの人が訪れます。



◆初詣情報
【祈祷、お札・お守りなど授与】
12月31日(月)23時～1月1日(火)祝23時ごろ
(祈祷は18時ごろまで)
2日(水)・3日(木) 8時～22時ごろ
4日(金)以降 8時30分～19時ごろ
(2日(水)以降、祈祷は17時ごろまで)

加賀の國を見守り続ける
菟橋神社

地元の人々に「おすわさん」と親しまれる菟橋神社。始まりは704年より以前とも言われ、823年に加賀の國の国府が置かれたと推定される能美郡菟橋郷(現在の古府町や小野町の周辺)に鎮座していました。郷内三十力村の総社として崇敬されていたと伝えられています。

江戸時代には加賀前田家3代前田利常公によって小松城内へ、その後、現在地へと移転しました。

御神木「昇龍の松」に手を当てると厄除けや縁結びにご利益があると言われ、「百度石」とともに祈願成就の象徴となっています。

御輿や獅子が氏子町内を巡行することに由来する春季例大祭「お旅まつり」や、力比べの神事が名物の秋季例大祭「西瓜まつり」は、多くの参拝者にぎわいます。



▲龍が天に舞い上がるようにそびえ立つ「昇龍の松」

「いぼ池さん」で親しまれる



すあまの 須天熊野神社

- ◆初詣情報
【祈祷、お札・お守りなど授与】
1日(火)祝 0時～20時30分(2時～6時はお休み)
2日(水)～5日(土) 6時～19時
※1日(火)祝0時～元旦祭
※14日(月)祝13時～左義長



須天熊野神社もまた、前田利常公の崇敬が厚く、神主の屋敷などが寄進された歴史があります。

昔から「いぼ池さん」と親しまれ、遠方からも多くの人が訪れます。地下1メートルからくみ上げた霊水を肌につけると、いぼが治った、肌がきれいになったと伝えられ、諸病平癒のご利益があるとされています。

境内の奥には、一度枯れた木から新芽が生え再び大木となったと言われる「甕りの樹」があります。また、道に迷った神様を目的地まで導いたと伝わる八咫鳥の像に水を打つと幸せになれるとされています。

元旦にお目見えする巨大絵馬は、その年の干支を宮司が描いたもので、見る人を喜ばせています。



★の神社は、小松観光ボランティアガイドの会「ようこそ」が見どころをご案内しています。要事前予約。こまつ観光物産ネットワーク ☎24・8394

しあわせ祈願
こまつ七社
Map

貴重な宝物が受け継がれる



よしじま 葭島神社

- ◆初詣情報
【祈祷、お札・お守りなど授与】
1日(火)祝 0時～18時
2日(水)・3日(木) 9時～17時
※1日(火)祝1時～元旦祭



葭島神社が前田利常公により現在の地に造営されたのは1664年、小松城が葭島に鎮座されてきた稲荷大明神を合祀し、稲

荷社、五穀寺と呼ばれていました。神仏習合の形態で存在し、前田家の手厚い保護を受け、国家安泰、五穀豊穡、殖産興業の守護神として広く崇敬されてきました。

今でも「いなりさん」と呼ばれ、石川県指定文化財の本殿は、風化を防ぐため覆い屋の中に収まり、その彫刻は流麗で見応えがあります。前田家寄進の宝物のほか、神仏分離となった後も五穀寺時代の貴重な仏像仏具がのこされ、市指定文化財となっています。

難関突破の守護神 あたかすみよし 安宅住吉神社

- ◆初詣情報
【祈祷、お札・お守りなど授与】
12月31日(月)23時～1日(火)祝24時ごろ(祈祷は19時ごろまで)
2日(水) 7時～20時ごろ(祈祷は18時ごろまで)
3日(木) 7時～18時ごろ
※天候などにより時間を変更する場合があります
※周辺では一方通行などの交通規制があります



▲機転を利かせて義経を守り、安宅の関所を突破した弁慶の像

古くから陸・海路の要所として栄えた北国の港・安宅に鎮座する安宅住吉神社。その始まりは782年と伝わり、1647年に現在地に遷座されました。

兄・源頼朝に追われる義経一行が、安宅の関守・富樫に疑われながらも、安宅住吉の大神のお助けにより難を逃れることができたという伝承から、全国唯一の難関突破の守護神となっています。商売や受験、スポーツ、芸事上達など、人生の様々な難関を突破するため、毎日多くの人が参拝に訪れています。

大亀が石に生まれ変わり、永遠に住吉さんにお仕えすることになったと言われる「神亀石」のほか、史跡「安宅関跡」、与謝野雫子や塩田紅葉、森山啓の碑など、見どころがたくさんあります。



▲金沢の坪野石で作られた十五重の石塔(市指定文化財)

てんまんぐう 菅原道真公、前田利常公をまつる 小松天満宮

- ◆初詣情報
【祈祷、お札・お守りなど授与】
1日(火)祝 0時～19時(2時～6時は祈祷受付をお休み)
2日(水) 9時～18時
3日(木) 9時～17時
※1日(火)祝0時～歳旦祭



▼願いを込めて撫でるとかなえられるとされる「願掛け撫で牛」



▲社殿と神門は国の重要文化財に指定

加賀前田家3代前田利常公により1657年に創建された小松天満宮。小松城の表鬼門の方角、小松城と金沢城を一本の線で結んだ直線上に位置し、怨霊から加賀藩を守るために建てられたとされています。

利常公が祖先神として崇める学問の神・菅原道真公をまつり、小松天満宮の神紋は道真が好んだ梅と松を使用。社内に植えられた約100本の梅は、3月初旬に色付きます。

臥牛像は越前の北前船主が奉納したもので、越前から小松へ運ぶため船に積み込もうとしたが全く動かず、その日の出航をあきらめたところ、急に海が荒れ、この臥牛像のお陰で事なきを得たと、生きた牛を撫でるように人々は感謝したという言い伝えがあります。